

児童文学作家石崎洋司氏講演会 開催報告

1 概要

子ども読書活動推進事業の一環として、YA（ヤングアダルト）世代に人気がある石崎洋司氏を招き、市内在住・通学の中高生により組織した運営実行委員会と協働し講演会を開催した。

2 講演会

- 日時：令和6年11月3日（日・祝）13:30～15:30
- 会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
- 講演会テーマ：「石崎さんが通る!!～先生と一緒に小説家修行～」
- 参加人数：111名（大人56名、高校生以下55名）
- 運営実行委員：18名



<次第>

- 1 開会の言葉（運営実行委員対応）
- 2 講師入場（運営実行委員対応）
- 3 仙台市民図書館長挨拶
- 4 運営実行委員長挨拶（運営実行委員対応）
- 5 講師紹介（運営実行委員対応）
- 6 講演①作品づくりについて
- 7 休憩
- 8 講演②ワークショップ
- 9 質疑応答（運営実行委員対応）
- 10 感謝の言葉・花束贈呈（運営実行委員対応）
- 11 閉会の言葉（運営実行委員対応）

当日の会場設営・受付・進行等、中高生の運営実行委員が主体となって講演会を開催した。

講師の石崎氏の講演では、前半で「言葉のたて糸とよこ糸を紡いで織物のように物語や小説をつくること」や「小説を書くことは言葉で絵を描くこと」、「キャラクター設定」などについてお話をいただいた。参加者は石崎先生の言葉に耳を傾け、メモをたくさんとっている様子が印象的だった。後半は4つの既存小説の一部を提示し、そこからどのような物語、シーン、書き出しが思い浮かぶかを考えるワークショップが行われた。参加者は挙手し、自身の思いついた物語を披露し、石崎先生からアドバイスももらっていた。他の参加者の発言を聞き、感嘆する声も響くすてきな時間となった。小説家志望の参加者も多く、石崎先生からも「こんなにも小説家志望がいるということに驚いた」との言葉をいただいた。

また、講演会前には各コーナーを熱心にご覧になり、中高生の活動や取り組みに対し、おほめの言葉をいただいた。



運営実行委員
発案の「黒魔
女さんが通
る!!」人気キ
ャラクター投
票



石崎先生の作
品展示ととも
に「せんだい
電子図書館」
で読むことが
できる作品も
二次元コード
で提示



各館で活動している中高生サポーターの紹介や中高生向けブックリスト等を展示



講演会に先立って、各館の中高生サポーターが活動を紹介

3 参加者アンケート

○ 回答数：94

■本講演会は中高生（実行委員）と図書館が協働して企画から作り上げてきたものです。このような取組をどう思いますか？

1. 大変良い 84 人 2. 良い 8 人 3. 普通 1 人 4. あまり良くない 0 人 5. 良くない 0 人 6. 無記入 1 人

■自由記述

- ・中学生になるのが楽しみになりました。実行委員をやってみたいです。(小学生)
- ・中高生でここまでものを作り上げられるのかと驚きました。自分でもやってみたいです。(中学生)
- ・中高生の社会的な創作活動の参加につながるため大変良いと感じた。(高校生)
- ・中高生が主体的に企画・運営・進行をするという取り組みは、本人たちにとっても良い経験・思い出になるのだろうと感じました。講演会以外にも設置されているメッセージ募集など、盛りだくさんで楽しかったです。(20代)
- ・娘(小5)は学校で図書委員になってがんばっている。ぜひこのような取組みに参加させたい。(40代)

■今日の講演会はどうでしたか？

1. 大変良かった 83 人 2. 良かった 6 人 3. 普通 1 人 4. あまり良くなかった 0 人

5. 良くなかった 0 人 6. 無記入 4 人

■自由記述

- ・本物の小説家さんのお話を聞くことがあまりないので嬉しかったです。とても貴重なお話をきくことができました。(小学生)
- ・先生の小説の書き方だけでなく中高生向けのアドバイスや作家志望の人向けのアドバイスをいただけて良かった。質問の時間をとっていただけて良かった。(中学生)
- ・実際に作家の先生に文の批評をしていただいている点が良かった。(高校生)
- ・自分のオリジナル作品を作り、先生にほめていただけたことが大きな自信になりました。(10代)
- ・私も物語が書けるかも？と、思い違いさせられる講演会でした。楽しかったです。(30代)
- ・とても楽しい内容でした。本を好きな方、小説家を目指している若い方々がたくさんいらして、うれしかったです。(50代)
- ・参加者の本気度が感じられて、いい刺激になった。(60代以上)